第３回定例会は、19人の議員から一般質問がありました。紙面の都合上、各議員が指定した質問事項とその答弁を要約して掲載しています。詳細については、十和田市ホームページ内、会議録検索システム（12月掲載予定）をご覧ください。



You Tube
録画中継は
こちらから

小山田　剛　士
（黎明親和会）

（仮称）惣辺奥瀬風力発電事業　現時点の方向性は

様々な視点から精査し　地域との共生が可能か見極める

問　令和８年第２回定例会以降の進捗状況は。

答　現在、事業者においてイヌワシ等の生態系への影響調査を行っています。その状況を注視しつつ、様々な視点から精査を進め、本定例会最終日の全員協議会において、現時点での考え方を報告する予定です。

問　現時点での方向性は。

答　風力発電事業の実施に当たっては、地域振興への貢献などのプラス面だけでなく、市民生活や豊かな自然・生態系への影響等といったマイナス面、事業者の対応等、様々な視点から地域との共生が可能であるかを見極めることが何よりも重要です。中でも希少猛禽類等の貴重な動植物は、将来へ引き継ぐべき貴重な財産であることから、本事業の進展による自然環境や生態系への影響を強く懸念しています。この懸念を払拭できる技術的対策等が確立されない限り、賛成の意向を示すことは難しいため、今後の事業者の対策や調査結果等を踏まえて判断していきます。

問　地域住民の理解が十分に得られていないという懸念に対する認識は。

答　事業者による環境影響評価手続に基づく住民説明会のほか、自主的な中間報告会がこれまで複数回開催されていますが、依然として事業による影響を危惧する意見が多く出されており、現時点では、地域住民から十分な理解が得られているとは言い難い状況であると考えています。

問　地域住民等から意見を聞く機会を設ける考えは。

答　事業内容等を精査する際に、着眼点や要点などについて、有識者や関係団体等から意見を頂くことを想定しており、今後必要に応じて実施していきます。



You Tube
録画中継は
こちらから

山　端　美樹子
（自民公明クラブ）

東十二番町事故多発交差点　新たな安全対策は

十和田警察署が　信号機を設置する方向で検討

問　東十二番町交差点北西側十字路で事故が多発する要因は。

答　過去５年間で19件の人身交通事故が発生しており、事故原因の約６割が南北方向の一時不停止で、約７割が市民となっています。十和田警察署との合同視察の結果、交差点南側からの見通しの悪さや一時停止等の標識が目立たない点、交差点として認識されにくい点が要因として考えられるとの認識を共有しています。

問　新たな安全対策について市の取組は。

答　合同視察の結果、新たな対策として導流帯やポストコーンの設置、交差点内の黄色いカラー舗装を整備するとともに、十和田警察署長への要望の結果、信号機を設置する方向で検討するとの回答を得ています。

問　大規模災害が起きたときの広域医療体制について、本市はどのように被災地を支えるのか。

答　中央病院にはＤＭＡＴ隊員が10名おり、災害時の医療派遣に備えています。能登半島地震では石川県へ派遣し、青森県東方沖地震では、むつ総合病院から３名の患者を受け入れました。平時から国や県が実施する大規模地震時医療活動訓練や東北ブロックＤＭＡＴ参集訓練などを通し、災害発生時に迅速な対応ができるよう、広域災害医療体制の充実に取り組んでいます。

問　病児・病後児保育事業の委託先である十和田東病院が閉院するが、今後も利用できるのか。

答　中央病院での開設に向けて、運営体制や施設整備、財政面の協議を進めています。利用される子育て世帯への影響を最小限に抑えられるよう、可能な限り早期の開設に向けて準備を進めます。